

～ 具体的な活用の例 ～

■学校での活用

教科書や文房具と同様に、インプット・アウトプットする道具として活用

- インターネットでの情報収集や、デジタルによる資料などの作成
- 一人一人の考えを共有し、共同で資料作成、グループや学級での発表や話し合い
- 保護者への連絡ツールとして、アンケートや学校だよりなど学校からの配布物の受け取り、回答や提出
- デジタルドリル等を活用して、宿題や自主学習
- 臨時休校や登校が制限される時のオンライン授業 など



個々の思考の共有や共同での作業



グループでの分担や共同での作業

個別最適な学びや自主学習の充実



デジタルドリルなどを活用した学習

G I G Aスクール構想

小中学校に1人1台のタブレット端末が導入されました これから学びのスタイルが変わっていきます

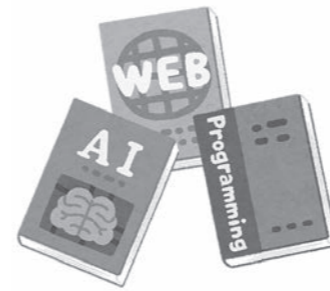
G I G Aスクール構想とは…

児童・生徒1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、多様な子どもたちの資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現することです。これまでの教育実践と最先端のICTの活用により、教員・児童生徒の力を最大限に引き出すのが狙いです。

社会のデジタル化とG I G Aスクール構想

近年、私たちの生活の中で急速にデジタル化が進んでいることはご存知かと思いますが。電子マネーの普及で現金を持つ機会が少なくなり、インターネットショッピングで家にいながらさまざまな商品が手に入るなど、日常生活に浸透してきました。間接的なサービスも含め、私たちの暮らしはますます便利になると同時に、働き方や社会構造も大きく変化していきつつあります。

こうした流れは教育にも変化をもたらしています。文部科学省はICTを基盤とした先端技術を学びの場で活用していくこととして、全国小中学校の児童・生徒に1人1台タブレット端末を貸与し、学校での活用を基本に家庭学習でも活用し、子どもたちの学びを充実させる「G I G Aスクール構想」を始めました。



ICT活用の現状

学校では、子どもたちの学習でより分かりやすく学びやすい環境のために、これまでもICT機器が少しずつ導入され利用してきました。清里町では、電子黒板に写真や動画などの資料を映したり、理科授業で実物を投影（先生の手を拡大して映す）するなど、子どもたちの学習が充実するよう指導方法を工夫してきましたが、ICT機器の利用はまだそれほど多くはなく、子どもたちは紙の教科書と鉛筆、先生たちが手づくりしたプリントなどを使って学んでいます。

タブレット端末の活用で学びが変わる

小中学校には全児童・生徒分、教職員分のタブレット端末を導入しました。タブレット端末はGoogle Classroomブックというインターネット回線でクラウドシステムを利用するタイプのものです。このシステムにより、授業で児童生徒が同時にさまざまな教材を使ったり、クラウド上で共同作業することなども可能になります。また、多くの児童生徒が同時に作

■期待される効果

- ①新しい時代に児童生徒が備えるべき資質・能力の育成
「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性」を育成
- ②個別最適な学びによる基礎学力の向上
一人一人の能力・適性や学習の習熟度に合わせた指導の推進
- ③情報活用能力の育成
問題を解決するために必要な情報を収集・整理・分析し、問題解決へと導く情報活用能力を育成

まずは学びのルールづくりから

3月中旬に全児童・生徒用、先生用のタブレット端末が、各学校に納品されました。高速・大容量のネットワーク回線の工事も完了し、1人1台端末の利用環境が整ったところです。今後は、学校や家庭で利用するためのルールづくりや、先生が授業で使うための指導方法の研究と試行、より分かりやすい授業のため電子黒板やデジタル教材などの選定・導入を進めていきます。また、保護者の方たちにも子どもたちの学びがどのように変わるのかを知っていただ

業するためには高速大容量のインターネット回線が必要のため、小中学校のインターネット回線も整備しました。

■タブレット端末整備台数
小学校211台、中学校93台



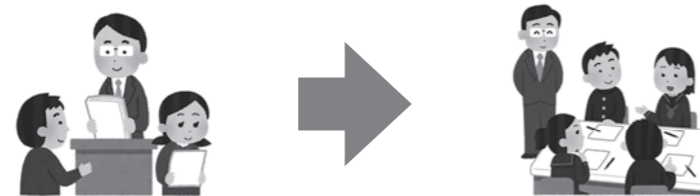
全児童・生徒に貸与されるタブレット端末

学びが深まることを期待

学習道具に新たにタブレット端末が加わりますが、先生が子どもたちの様子を見ながら授業の進め方を工夫し、理解を深めていくことにより変わりはあります。タブレット端末を使った学習活動で、クラスメイトと協力して資料を作成する学習や、意見を出し合って考え方を共有する学習など、子どもたちがより考える場面が増え、学びへの理解が深まることを期待されます。

くため、説明会の開催や、ルールをお知らせしていきます。
子どもたちの学びを充実させていくために、保護者の皆さまにおかれましては、タブレット端末の正しい利用や管理などについて、ご理解とご協力をお願いします。

主体的・対話的で深い学びの推進



先生中心の授業から

児童・生徒中心の授業へ
(児童・生徒同士で考えを深める)

■詳細・問い合わせ

生涯学習課学校教育グループ

☎25-2139